

## 京都府、こどもの医療費助成「小学校卒業まで」の拡充方針示す

### 「すべてのこどもの無償化求める要請署名」を来週提出予定

○京都府は、昨日、2023年度の当初予算が示され、これまで通院の自己負担上限額を200円とする対象を拡大し、小学校卒業までとする方針を示しました。これは、繰り返し京都府に改善を求めてきた「こども医療費無料化制度を国と自治体に求める京都ネットワーク」はじめとする多くの府民の強い要求と運動の成果です。また、2022年度キャラバンで京都社保協が府内市町村に要望し、議会に陳情を提出するなどの取り組みも大きな力となりました。今回の制度改善により府内の市町村は、子育て支援策をさらに充実させることが可能になります。

通院の自己負担上限額を200円(月・医療機関)とする対象を小学校卒業まで拡大			
現行		拡充後	
入院	中学校卒業まで:200円/月・医療機関	入院	中学校卒業まで:200円/月・医療機関
通院	0~2歳:200円/月・医療機関 3歳~中学校卒業まで:1,500円/月	通院	小学校卒業まで:200円/月・医療機関 中学生:1,500円/月

○今回提案された予算は、24.2億円(2023年9月実施予定)で、通年だと約28億円程度です。今回の制度改正は確かに大きなものですが、私たちの求める「高校卒業まで無料化」まではまだまだ到達していません。京都府が開催したあり方検討会の議論でも「中学校卒業まで」を求める声が多かったはずで。

緊急に提起をした「すべての子どもを対象とした子育て支援医療助成制度無償化」を求める京都府知事宛の要請署名も66団体から集約されました(1月24日現在)。すべてのこども医療費助成改善を求める声の大きさを示しています。

京都社保協は来週、「すべての子どもを対象とした子育て支援医療助成制度無償化」を求め、いただいた署名を提出し、さらなる制度拡充を求める予定です。他府県では、大阪府は「18歳まで、最大500円(月3日目以降自己負担なし)」など、さらに進んでいる県もあります。高校卒業まで無料化めざし、さらに取り組みを強めましょう。